

---

令和3年度吉川市

# 主な事業のあらまし

---

市民の皆さまからお預かりしているお金の使い道などを  
わかりやすくご説明します。



©yoshikawa



吉川市

## Q そもそも、予算とはなんですか？

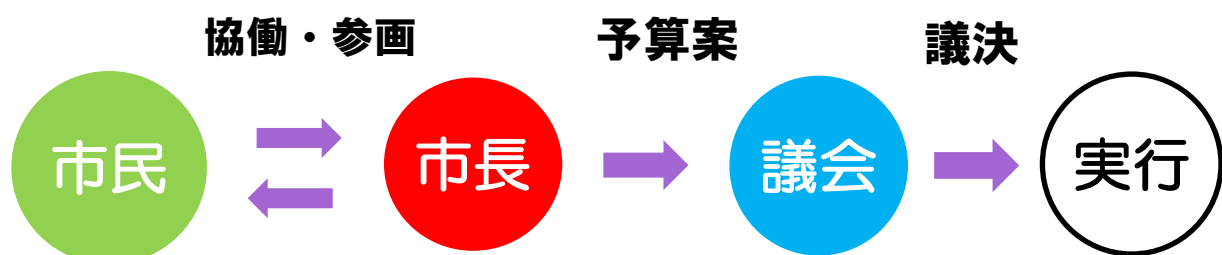
A. 予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間(4月から翌年3月まで)にどのくらいの収入があるか、その収入を元にしてどのような事業を行うかを計画し、その費用を見積もります。

## Q 予算はどのように決まるのですか？

A. 市の担当部局が、市民の皆さまからのご意見などを考慮して、1年間の事業計画を検討します。市長は、担当部局との調整を重ね、予算案としてまとめ、市議会に提出します。

市議会は、提案された予算案を審議した上で、議決によって予算を決めます。



Q

令和3年度の吉川市の予算は？

A. 一般会計、特別会計、企業会計の予算を合わせると、

**420億9,041万円**になります。

一般会計

225億8,000万円

特別会計

147億3,756万円

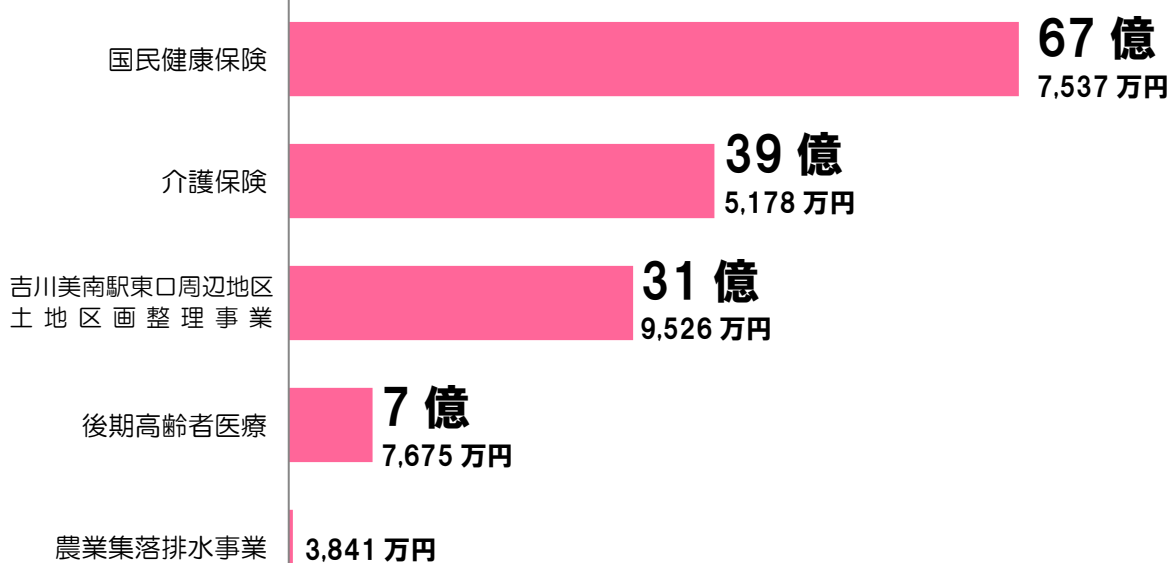
公営企業会計

47億7,285万円

福祉、教育、道路整備などを進める基本的な行政サービスを行うための会計です。

特定の目的の会計で、吉川市には5つの会計があります。

市が経営する企業の会計で、吉川市には水道事業会計、下水道事業会計があります。

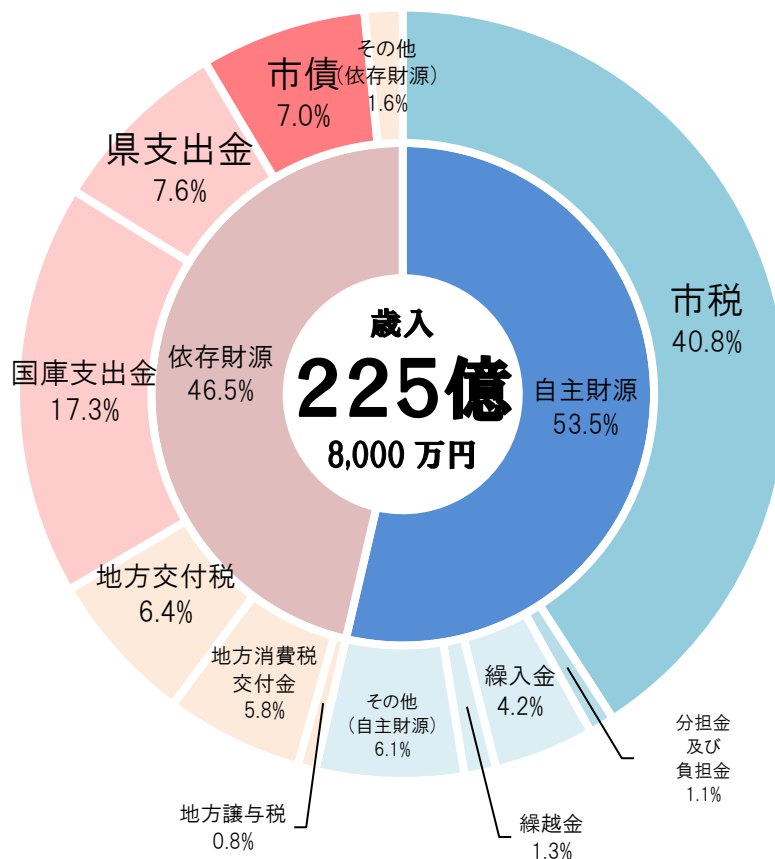


※公営企業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額を予算額としています。

※本文及びグラフの数字は1万円未満を四捨五入しているため、予算書の予算額と一致しない場合があります。

## Q 令和3年度の吉川市の歳入は？

A. 一般会計の歳入には、市税や国・県からの支出金、銀行などからの借入金や施設の使用料などがあります。



### ～依存財源～

吉川市が国や県などに依存するかたちで調達する財源です。

#### ●市債 15億6,920万円

大規模な工事などの事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。

#### ●国庫・県支出金 56億2,020万円

皆さんが国や県に納めたお金の一部が、特定の目的を達成するために地方公共団体に交付されます。

#### ●地方交付税 14億5,000万円

皆さんが国に納めた税金の一部です。一定の割合に応じて地方公共団体に交付されます。

#### ●地方譲与税 1億7,000万円

国税として徴収した特定の税目の収入の一部が、一定の基準に基づいて地方公共団体に譲与されるものです。

### ～自主財源～

吉川市が自らの権能に基づいて自主的に収入できる財源です。

#### ●市税 92億2,232万円

市民の皆さんから吉川市に納めて頂く税金です。市民税、固定資産税などがあります。

#### ●分担金及び負担金 2億3,989万円

事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。

#### ●繰入金 9億4,958万円

一般会計と特別会計の間で相互に資金運用するためのお金や、各種基金(市の貯金)を取り崩して使うためのお金です。

#### ●繰越金 3億円

前年度の支出を差し引いて余ったお金を、今年度の財源とするために繰り越した分のお金です。

## Q 令和3年度の吉川市の歳出は？

A. 歳出は12の目的に分けられ、一般会計 225 億 8,000 万円のおよそ 45.4%が児童手当や保育委託料、障がい・高齢福祉サービスなどの民生費で 102 億 4,223 万円となっています。また、性質別など違う角度から見ることで、吉川市の現在の状況などを知ることができます。

### ●議会費 2億 711万円

市議会の運営に必要な経費です。

### ●総務費 20億 2,400万円

市役所の全体的な仕事に必要な経費です。

### ●民生費 102億 4,223万円

社会福祉や児童福祉に必要な経費です。

### ●衛生費 16億 1,495万円

健康維持や環境保全などに必要な経費です。

### ●農林水産業費 2億 2,227万円

農業の振興や普及に必要な経費です。

### ●商工費 1億 1,989万円

商工業の振興などに必要な経費です。

### ●土木費 26億 7,707万円

道路や公園などの整備などに必要な経費です。

### ●消防費 11億 6,259万円

減災、消防などに必要な経費です。

### ●教育費 23億 300万円

学校教育、社会教育などに必要な経費です。

### ●公債費 19億 9,173万円

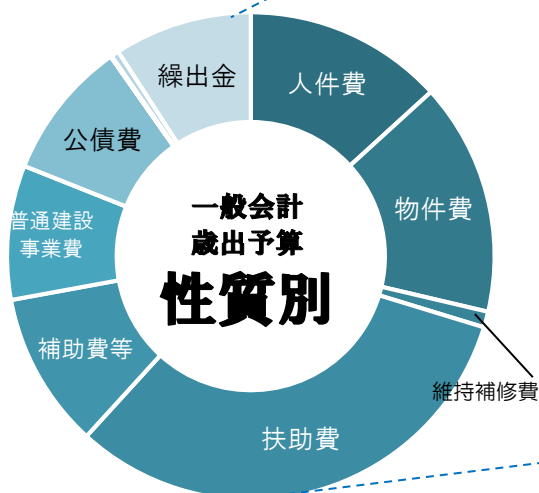
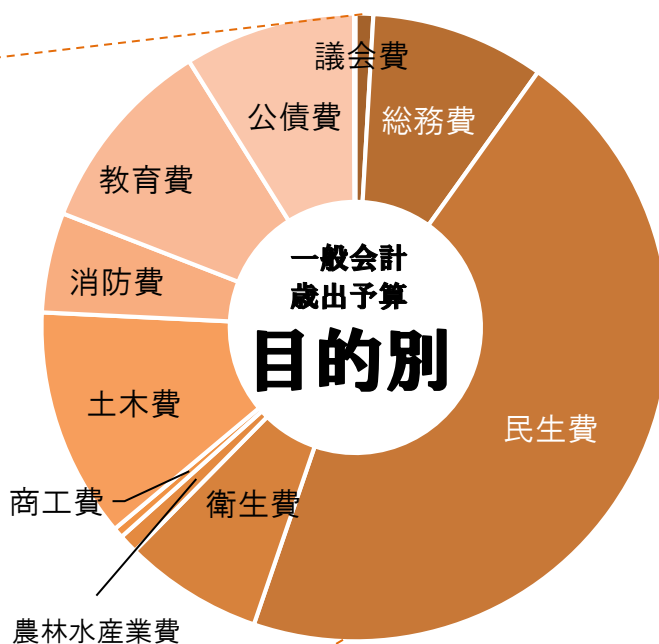
借入金の返済に必要な経費です。

### ●諸支出金 17万円

ほかの支出に含まれない経費です。

### ●予備費 1,500万円

緊急の支出に充てるために必要な経費です。



### ●人件費 38億 5,662万円

職員の給与などに係る経費です。

### ●物件費 33億 2,987万円

光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などの経費です。

### ●維持補修費 2億 2,653万円

市が管理する施設等の効用を維持するための費用です。

### ●扶助費 69億 1,701万円

子育て支援、障がい者支援、生活保護などに係る経費です。

### ●補助費等 22億 3,265万円

団体への補助や一部事務組合に対する負担金などの経費です。

### ●普通建設事業費 19億 2,373万円

道路や学校の改修など都市基盤の整備に係る経費です。

### ●積立金 16万円

### ●貸付金・出資金 1億 1,140万円

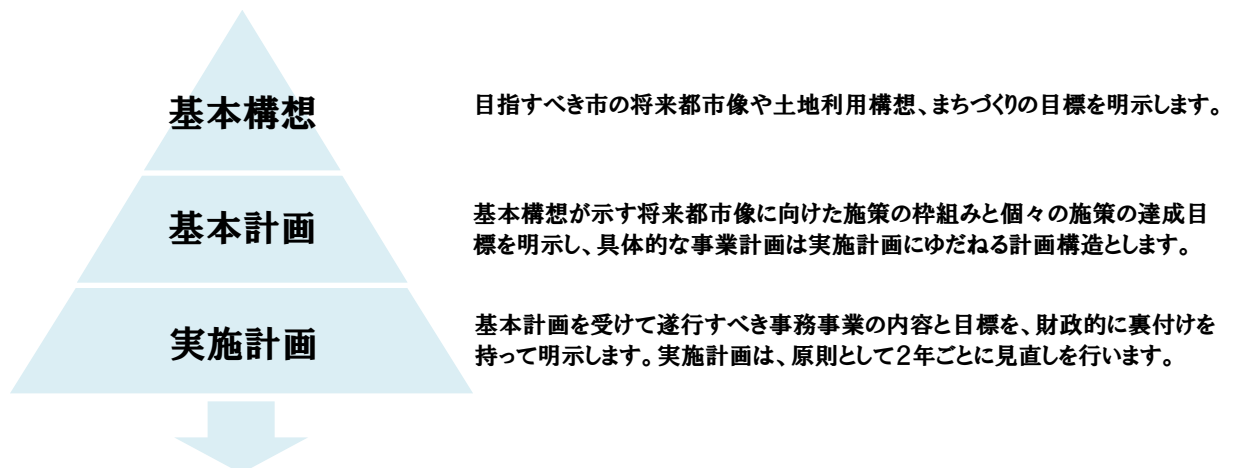
### ●公債費 19億 9,173万円

### ●繰出金 19億 7,531万円

### ●予備費 1,500万円

## Q 令和3年度はどのような事業を行う？

- A. 吉川市で令和3年度に行われる事業の一部を、第5次総合振興計画・後期基本計画の重点テーマごとにご紹介します。総合振興計画とは、吉川市の目指すべき将来都市像やまちづくりの目標の実現のため、市政運営の長期的な指針を示すことを目的として策定するもので、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成しています。



まちづくりの目標として設定する施策体系のうち、後期基本計画において特に積極的に推進すべき取組を「重点テーマ」として位置付けています。

### 重点テーマ

I 市民の安全・安心を高める

II 子どもの笑顔で満たされたまちをつくる

III まちの価値を高める

IV まちの住みよさを高める

I ふれあい・交流・協働のまちづくり  
〈市民交流部門〉

II 元気・健やか・幸せのまちづくり  
〈健康福祉部門〉

III うるおい・安心・快適なまちづくり  
〈生活環境部門〉

IV 躍動・活力・賑わいのまちづくり  
〈地域振興部門〉

V 生きがい・学び・伸びゆくまちづくり  
〈教育文化部門〉

VI まちづくりの推進のために  
〈行政運営〉

第5次総合振興計画後期基本計画施策体系

# I 市民の安全・安心を高める

## ● 災害への備え

- 江戸川の重要水防地区である旭地区において、「市民にとってより現実的な減災訓練」「防災関係機関等との連携強化」をテーマに「水害」を想定した「減災プロジェクト」を実施するとともに、引き続き、減災フェアや出前講座、自主防災会の設立支援などを通じて、各地域における減災力の向上を図ります。
- 災害時における市民への情報発信として、ハザードマップや防災情報が掲載された防災マップの確認ができる「減災アプリ」を導入します。
- 令和2年度に吉川市社会福祉協議会と締結した協定をベースに、「災害ボランティアセンター初動マニュアルの作成」及び「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を実施します。
- 吉川、きよみ野などの地区を担当する消防第5分団の機械器具置場の建て替えや、吉川消防署南分署の増隊を見据えた消防車両の購入など、消防力向上に向けた支援を進めます。

## ● 治水対策

- 吉川駅北口から県道川藤野田線までを範囲とする「第一排水区」において、管路や地形のデータをもとに流出解析を行うとともに、共保雨水ポンプ場増強の効果についての検証を行い、その結果をもって、中川の河川管理者である江戸川河川事務所と排水量の増加に向けた協議を行ってゆきます。

### 主な事業費

減災プロジェクト会場設営委託料	51万円	減災アプリの作成	463万円
消防団運営事務負担金	6,591万円	総合治水対策検討業務委託料	600万円

# II 子どもの笑顔で満たされたまちをつくる

## ● 児童福祉の推進

- 「子ども未来応援集会」やひとり親家庭の支援を通じて、地域や関係機関との連携をより一層推し進め、子供の貧困問題に対する支援の輪を広げてゆきます。
- 子育て支援センターなどにおけるオンライン相談を実施し、子育てに悩みを抱える保護者に寄り添った相談体制の充実を図ってゆきます。
- 保育士の資質向上を図るため、民間保育所と協力しながら研修会や情報交換会を実施し、さらなる「保育の質の向上」に取り組んでゆきます。
- 幼稚園類似施設に就園している子供達への支援として、市として出来得る経済的支援を進めてゆきます。
- 「児童館ワンダーランド」については、5年ぶりにプラネタリウム全天周番組をリニューアルします。

※ 事業の内容については、3月議会において市長が1年の市政運営の基本的な考え方や主要な施策について述べる施政方針から抜粋・編集し掲載しています。



## ● 学校教育の充実

- 国が導入する小学校全学年35人学級への移行を段階的に進めてゆきます。
- 市内全ての小・中学校に段階的に学校運営協議会を設置し、「地域とともにある学校づくり」を推進する「コミュニティスクール」の導入を進め、学校・家庭・地域の連携・共働の関係を築いてゆきます。
- 全校に配備された一人一台のタブレット端末を活用し、「主体的、対話的で、深い学び」を実現するICT教育を推進してゆきます。
- 少年センターの名称を「適応指導教室」から「教育支援センター」に変更し、また、教育相談員・補助員を1名増員する中で、さらに子供や保護者に寄り添った丁寧な相談活動を行ってゆきます。

### 主な事業費

子ども未来応援集会	10万円	子育て支援センター運営委託料	1,356万円
幼稚園類似施設就園奨励費補助金	77万円	保育士の資質向上のため研修等	22万円
学校ICT教育機器借上料	3,194万円	学校運営協議会委員報酬	21万円
プラネタリウム番組の入れ替え	110万円	少年センター教育相談・指導員報酬等	238万円

※ 共働…市民と行政が課題を共有し、解決に向けて共に動くこと。市長が掲げる理念の一つ。

## Ⅲ まちの価値を高める

### ● なまずを用いた取り組み

- 7月2日の「なまずの日」のイベントにおいて、市制施行25周年を記念した「なまずのぼり」を作成し「なまずの里吉川」の認知度を高めるとともに、「全国なまずサミット」において全国に向けたPRを図ってゆきます。
- 「なまずを用いた学習」を引き続き実施するほか、学校給食で「なまずの日献立」を提供し、なまず文化と吉川市の歴史への理解を深める事業を展開してゆきます。

### ● 文化芸術の振興

- 「文藝よしかわ」第6号を刊行します。また、「文藝よしかわ」のスピンオフ企画である小学生対象の「ハイク（俳句）探検団」は、今年度も俳句協会の皆さまのご協力の下、実施します。
- 美南中央公園になまずをモチーフとしたタイル画を市民参加により制作します。
- 一流の文化芸術に触れる機会として、チェロ奏者の加藤文枝氏とピアノ奏者の小澤佳永氏をお招きし「生音コンサート」を実施します。
- 文化連盟の皆さまとの「どこでも市長」において提案のあった、「文化芸術の発表の機会」としての「第1回吉川市展」を実施します。



## ● 農業・商業の振興

- 昨年度立ち上げた吉川市農業活性化検討会議での研究などを踏まえ、農福連携に関する補助や農商工業が連携した6次産業化の事業などを展開します。
- 地域農業の活性化を図るため、引き続き、千葉大学園芸学部との連携を深め、農業拠点施設などの共同研究や農業者への相談対応などを行ってゆきます。
- 吉川市商工会をはじめとする各種経済団体と連携を図りながら、地域経済の回復に向けたコロナ対策に取り組んでゆきます。
- 合同就職面接会を開催し、障害者雇用も含めた就労機会の創出に取り組んでゆきます。
- 産業振興を図る上で重要な拠点となる、三郷料金所スマートインターチェンジのフルインター化について、令和2年10月、国により正式に事業化されたことから、引き続き、周辺道路の改良に向けた取り組みを進めてゆきます。

主な事業費			
なまずのぼり作成委託料	70万円	なまずサミット参加経費	13万円
総合的な学習のなまず料理材料費	42万円	文藝よしかわ印刷製本費	43万円
生音コンサートに係る経費	72万円	なまずのタイル画制作	150万円
千葉大学との包括連携委託料	50万円	商工会補助金	840万円
合同就職面接会に係る経費	42万円	三郷料金所スマートICに関連する設計委託料	1,890万円

## IV まちの住みよさを高める

### ● 道路・橋りょうの整備

- 「都市計画道路越谷吉川線」のうち、吉川橋の架け替えを含む県施工区間については、令和4年春に一部4車線供用を予定しており、事業が計画どおり進捗するよう県と連携を図ります。市施工の大場川から県道加藤平沼線までの区間については、大場川右岸側の取付け道路の工事と、左岸側の道路部分の用水路や排水路の切り回し工事を計画的に進め、早期の完成を目指してゆきます。
- 「都市計画道路三郷吉川線」については、一之橋交差点から都市計画道路越谷吉川線までの約600mの区間で、県施工による4車線化工事が予定されており、周辺幹線道路の渋滞緩和も期待されることから、県と連携を図ってゆきます。
- 「JR武蔵野線吉川駅北口の再整備」については、利用者の利便性の向上とロータリーの交通環境改善を図るため、周辺道路の交通解析や改修計画の作成に着手し、基本設計の作成を進めてゆきます。
- 三輪野江地区における「大場川の橋りょう架け換え」については、県が施工する大場川の改修にあわせて橋を架け替える必要があり、県や隣接する三郷市と連携しながら工事に着手します。

## ●公園の整備

- 「保第3公園」においては、地域の皆さまからの「災害への対策」要望をふまえ、かまどベンチなどを設置するとともに、既存の水の流れを活かした公園再生を進めてゆきます
- 子供達からの意見やアイデアを活かした公園整備を進めてゆきます。
- 大沢雄一元埼玉県知事の居宅跡地の一部を借り受け、その功績を称えると同時に、市民の皆さまが樹木や自然を身近に感じ、憩いの場となるよう整備を進めてゆきます。

## ●市民農園の整備

- 旭地区の市民農園においては、吉川市農業活性化検討会議からの提案をふまえ、「なまずをモチーフにした築山」や「昆虫が育つ堆肥場」を整備してゆきます。

## ●吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業

- 「吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業」については、盛土工事をはじめ、道路に敷設する下水道や水道などのライフライン工事を令和3年度も継続して進めてゆきます。
- 吉川美南駅東口周辺地区のまちづくりコンセプトである「笑顔と緑あふれるみんなの庭」の実現に向け、有識者や市民などで構成する検討委員会において、文化施設など公共施設整備について協議を進めており、民間事業者の動向なども把握しながら基本構想と基本計画の策定を進めてゆきます。

## ●充実した公共交通網の整備

- これまで約3年間実施してきた「高齢者のタクシー利用料への助成」事業については、有識者や事業者、市民などで構成する検討委員会における「現行の取り組みは妥当」との検証結果を受け、令和3年度も引き続き実施してゆきます。

### 主な事業費

越谷吉川線築造工事費（市施工）	1億4,466万円	越谷吉川線整備費負担金（県施工）	8,614万円
三郷吉川線整備費負担金	3,162万円	橋りょう架替整備工事	4,540万円
保第3公園整備工事	300万円	大沢元埼玉県知事居宅跡地の緑地整備	500万円
吉川美南駅前施設整備検討業務委託料	432万円	高齢者のタクシー利用料への補助金	1,800万円
吉川駅北口駅前交通広場改修計画作成委託料	1,764万円		
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計繰出金	4,982万円		



©yoshikawa

## ～市長からのメッセージ～



前述した事業以外にも、「市民と行政の共働」により、様々な事業の展開を予定しています。

### 新型コロナウイルス感染症対策

吉川市が目指す「市民一人ひとりが幸福実感を得られる未来」「持続可能な未来」という「価値ある未来」は、「生命の安全」「生活の安心」「地域の安定」があってこそです。

これまで、「生命を守る」「生活を支える」「地域経済を後押しする」を吉川市のコロナ対策の3大理念とし、埼玉県や関係団体と連携を図りながら、PCR検査センターの設置、こころとくらしの相談員の配置、ひとり親への家計支援、緊急子ども応援配食、プレミアム付き商品券の発行、市内事業者への独自の支援金や補助金交付、水道料金免除、全市民への特別定額給付金10万円給付など、あらゆる分野において柔軟かつ迅速に事業を展開してきたところですが、今後も、市民の皆さんからのご意見を踏まえ、状況に応じた適切なコロナ対策をスピード感をもって行ってゆきます。

### スポーツと環境

吉川市においては、これまでに「産業振興条例」や「文化芸術を総合政策として推進するための基本的な方針」など、それぞれの分野における理念、方向性を定め、その具現化において、「部や課を超えた横の連携」を強化してきましたが、令和3年度は、新たに方向性を打ち出した「スポーツ」と「環境」分野において、そうした「横の連携」を十分に活かしながら「SDGs」を踏まえた事業実施を図ってゆきます。

「吉川市スポーツ推進ビジョン」を定めた「スポーツ分野」においては、東京2020パラリンピック競技大会における、マカオのホストタウンに吉川市が登録されたことを契機に、障害者スポーツや多様性への理解をより一層深め、「スポーツによる共生社会の実現」を目指します。また、スポーツ環境の整備においては、早期に活動場所の提供が可能となる「市有地などの利活用による分散型スポーツ施設の整備」という方向性で検討を進めてゆきます。

「環境分野」においては、「環境保全指針」と「エネルギービジョン」に基づき、「四季が彩る持続可能なまちよしかわ」の実現に向け、市民・事業者との共働により、吉川市のエネルギー資源や特性を最大限に活用した創エネルギーと省エネルギーに取り組み、「2050年における脱炭素社会」を目指してゆきます。また、前述したように、三輪野江地区にある大沢雄一元埼玉県知事の居宅跡地の整備においては「環境」をテーマの一つとして事業を進めてゆきます。

### 障害者福祉

「障害を持つ全ての方々（高齢者、一部内部障害の方を除く）」を対象に行ったアンケート調査の結果をふまえ、「障害者福祉の推進のための基金」を設立し、「障害者就労」と「グループホーム」の課題解決に向けた取り組みを進めてゆきます。また、令和2年度からスタートした「市役所における障害者雇用」に加え、「市役所における障害者の短時間就労の可能性」を検討し、さらなる障害者雇用を図ります。

## 市民と行政の共動

地方自治体の優れた活動を表彰する「マニフェスト大賞」においては優秀賞にノミネートされ、独自の発想による優れた地域活動を表彰する「あしたのまち・くらしづくり活動賞」においては「振興奨励賞」を受賞した「地域課題を地域で解決するための勉強会」をはじめ、「障がい者の地域での生活を考える検討会議」「子ども未来応援集会」「高齢化社会を見据えた地域づくりフォーラム」「農業活性化検討会議」など、吉川市の「市民と行政の共動」は市内外から高い評価をいただいています。令和3年度も、市民の皆さんから提案された課題解決へのチャレンジを「市民と行政の共動」により力強く継続してゆきます。またそうした共動の中で、子供達、若者から高齢者まで、さらに様々な分野、立場からの皆さんからいただいた意見を取りまとめながら「第6次総合振興計画」などの吉川市の根幹をなす計画を策定してゆきます。

## 市制施行25周年

令和3年は、吉川が町から市になって25周年に当たります。25周年記念誌として刊行した「吉川むかしばなし 第2集」や新たに発行する市勢要覧を活用し、吉川市の歴史や魅力を市内外に広くお伝えしてゆきます。また、マカオのパラリンピックホストタウン登録記念を兼ねた25周年記念オリジナル切手シートも制作します。

## むすびに

「あたりまえ」だったことが、「あたりまえ」ではなくなった、コロナ禍。  
世界が同時に直面することとなった、コロナ禍。

私達は何を求められているのか…。

これまで以上に、大事な人、大事なもの、大事なことを考えた1年を経て、私達は何をすべきなのか…。

日々の対応のみに追われるのではなく、「生きてゆくということ」への私達の、日本人の、人類としての「回答」を行動で示しはじめる時が来ているのではないか、私はそう思います。

小さな声、声なき声にしっかりと耳を傾けた事業、長い時間をかけて準備を重ねてきた事業、そうした事業が多く並ぶ令和3年度。「市民と行政の共動」による事業推進が「未来への回答」となるよう、そしてその結果として「価値ある未来」を創り上げられるよう、職員一同、力を尽くします。

## 令和3年度吉川市主な事業のあらまし

【発行】吉川市

【お問合せ】吉川市 総務部 財政課

〒342-8501 埼玉県吉川市きよみ野一丁目1番地

電話 048-982-5967(直通)